



北九州 GX 推進コンソーシアム主催「北九州 GX Day 2026.2.9」に登壇しました

2026年2月9日(月)、「北九州 GX Day 2026.2.9」(主催:北九州 GX 推進コンソーシアム)に重竹 COO と高田理事が登壇しました。

1. 「北九州 GX Day 2026.2.9」の概要

[日付] 2026年2月9日(月)

[主催] 北九州 GX 推進コンソーシアム

本イベントでは、「GX×金融×企業成長」をテーマとして、地域企業の未来を切り拓くための最新情報と実践事例の共有が行われました。

鉄鋼分野の GX、洋上風力のサプライチェーン構築といった大きな産業の在り方のほか、地域の企業経営の現場における GX への取組の課題や展望等について、幅広く議論が行われました。

2. 各登壇の概要

(1)重竹 COO による基調講演の概要

重竹 COO は、世界の GX が産業競争力とエネルギー安全保障を重視する現実路線へと収れんする中、日本は取組を加速すべき局面にあると強調しました。

また、北九州市、さらに九州地域は、多様な産業基盤を有しており、GX 産業集積と GX 産業構造転換のベストプラクティスとなり得ると指摘しました。とりわけ、洋上風力については、部品・素材・港湾機能を含めた広域サプライチェーンを構築できる高いポテンシャルを有しており、北九州を起点に、九州全体、さらにはアジア市場へ展開していく可能性がある」と述べました。

結びとして、GX の実現には官民連携による挑戦の継続が不可欠であるとした上で、GX 推進機構として、金融支援、GX-ETS の導入・運営、GX ハブ機能を通じ、地域や企業の取組を後押ししていく考えを示しました。





(2)高田理事が登壇したパネル討論「GX×金融×企業成長」の概要

[登壇者]

パネラー：GX 推進機構 理事 高田 英樹

一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ(FDSF)代表理事

小野塚 恵美 氏

株式会社福岡銀行 ソリューション営業部サステナビリティ推進グループ部長代理

神園 龍一 氏

株式会社 ROCKY-ICHIMARU 代表取締役社長 市丸 寛展 氏

北九州市 産業経済局長 柴田 泰平 氏

モデレーター：公益財団法人北九州産業学術推進機構 GX 推進部長 三戸 俊和 氏

本パネルディスカッションでは、地域の中小企業を含めたGXの取組の裾野の拡大、GX推進に当たっての課題の克服、国際的な動向、今後の北九州 GX 推進コンソーシアムの取組等について議論が行われました。

高田理事は、GX 推進機構が地域連携室の立ち上げなどを通じて地域の取組を重視している点に触れ、GX の裾野拡大にはサプライチェーン全体での対応が有効であり、大企業による中小企業支援の動きが進んでいることを紹介しました。

また、米国では反 ESG の動きが見られる一方で、脱炭素投資の潮流自体は変わっておらず、将来の競争力確保の観点から取組が継続されていると指摘しました。加えて、AI 等による電力需要の増大を背景に、安価かつ迅速に供給可能なクリーンエネルギーへの投資が拡大しており、九州にとっても成長機会となる可能性を示しました。

さらに、GX 産業立地政策を推進する「GX 戦略地域制度」が始まることを紹介しつつ、今後 GX 推進機構が事務局となって設立されるGXフューチャー・コンソーシアムと地域の官民コンソーシアムとの連携を強化していく考えを示し、議論を締めくくりました。





(参考) 北九州 GX 推進コンソーシアムについて

カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、官民GX投資を呼び込むため、北九州の産学官金が一体となり、北九州学術研究都市での研究開発など北九州のテンシャルを活かした社会実装や産業集積、地域企業の成長、新産業の創出に取り組み、「稼げるまち」北九州市の実現を目指すことを目的として、2023年に創設。

(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者:財務・サステナビリティ推進部

海部、天達、清水、會田

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。